2020 年 3 月 25 日

各　位

日本軽金属株式会社

2020 年 3 月 25 日第四回雨畑地区土砂対策検討会　内容について

日本軽金属株式会社（本社：東京都港区、社長：岡本　一郎）は本日 3 月 25 日、第四回雨畑地区土砂対策検討会を開催し、雨畑地区の堆砂対策について、今後の実施内容を取り纏めましたので、以下のとおり、お知らせいたします。

記

１．これまでの検討会の流れ

2019 年 8 月 9 日付で国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務所より弊社施設である雨畑ダムの定期検査結果に関する行政指導、及び 2019 年 8 月の台風 10 号・同年 10 月の台風 19 号などによる豪雨の影響を受け雨畑ダム上流の雨畑川の水位が上昇したことにより周辺地域で浸水被害が発生したことに対して、2019 年 9 月に国土交通省、山梨県、早川町、弊社により設立した雨畑地区土砂対策検討会（以下、検討会）において、周辺地域における浸水被害発生に対する応急対策、及び堆積土砂の抜本対策について、検討を重ねてまいりました。（これまでの第一回検討会から第三回検討会の検討項目につきましては、添付資料 1 枚目の「これまでの検討会の流れ」をご参照ください。）

２．雨畑地区の堆砂対策について

これまでの検討会でいただきましたご意見を踏まえ、弊社は雨畑地区の堆砂対策に盛り込むべき具体的な内容を説明し、国土交通省、山梨県、早川町にご同意をいただきました。今後、この内容に基づき、応急対策及び抜本対策を進めるとともに、搬出先候補の拡大及び搬出方法の課題解決に向け継続的に取り組んでまいります。（詳細につきましては、添付資料 2 枚目～4 枚目をご参照ください。）

３．今後の予定

実施状況を確認するためのフォローアップ検討会を国土交通省、山梨県、早川町、弊社により開催する予定です。

ご参考　雨畑地区土砂対策検討会第四回構成メンバー

国土交通省関東地方整備局
国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務所
国土交通省関東地方整備局富士川砂防事務所
山梨県県土整備部
山梨県県土整備部治水課
山梨県県土整備部峡南建設事務所
早川町役場

（添付資料　計４枚）

本件に関するお問い合わせ：

日本軽金属株式会社　蒲原製造所総務課　TEL：054-385-2111
日本軽金属株式会社　広報室　TEL：03-6810-7160

以上

（添付資料　計４枚）

雨畑地区土砂対策検討会 設立の趣旨

NIPPON LIGHT METAL COMPANY,LTD.

弊社施設である雨畑ダムは、流入する土砂の堆積が進行しており、維持管理のために従来より土砂の除去を行ってまいりました。

しかしながら流入土砂の堆積により雨畑川上流域の河床が上昇し、一部地域に浸水被害をもたらしたため、地域の安全確保を最優先に対策を講じております。
また、雨畑ダムにおける利水ダム定期検査では、2014年より4回連続して直ちに措置を講じる必要があるとして「Ａ判定」を受けており、2019年の検査結果通知後に国より抜本的な解決に向け、堆砂対策の計画を
取りまとめ、計画的に取り組むよう指導されております。

これを厳粛に受け止め、抜本的な解決に向けた堆砂対策を計画するにあたり、関係機関との調整を行う必要があると考え、本検討会を設立いたします。

2019年9月3日
日本軽金属株式会社

1

これまでの検討会の流れ

NIPPON LIGHT METAL COMPANY,LTD.

第1回雨畑地区土砂対策検討会　令和元年9月3日
1.雨畑地区土砂対策検討会設立の趣旨
2.雨畑ダム概要、土砂堆積除去に至る経緯
3.土砂対策計画策定に向けた課題とスケジュール

第2回雨畑地区土砂対策検討会　令和元年12月20日
1.台風19号復旧状況および応急対策
2.土砂除去に向けた計画案
3.今後の予定

第3回雨畑地区土砂対策検討会　令和2年2月4日
1. 前回の報告事項とご指摘事項
2. 応急対策について
3.抜本的対策に向けた検討状況
4.搬出スケジュール案今後の予定

2

雨畑地区の堆砂対策の内容

NIPPON LIGHT METAL COMPANY,LTD.

短期計画（ステップ１）　2020年度～2021年度末（目標：300万㎥）

目標：浸水・土石流被害の解消

内容：応急対策

○仮設堤防の建設（本村地区の安全を確保するための応急対策）

○仮設道路、湖岸保護盛土などに一時活用、河道確保

抜本対策

○搬出能力増強

○骨材活用

○運搬道路の整備（雨畑川・早川の河川内に地域の防災活用も視野に入れた運搬道路を建設）

○地域造成用盛土等への活用（地域の要望を優先した活用）

中期計画（ステップ２）　2022年度～2024年度末（目標：300～400万㎥）

目標：過去最大規模の土砂流入へ備えた容量確保

内容：○骨材活用

○地域造成用盛土等に活用（引き続き、地域の要望を優先した活用）

長期計画（ステップ３）　2025年度～

目標：安全な堆砂状態を継続的に維持するための対策

内容：○骨材活用

○地域に加え広域造成用盛土等に活用（引き続き、地域の要望を優先した活用）

○幅広い視点での方策を検討し運用する

3

雨畑地区の堆砂対策の内容
短期計画（ステップ１）■雨畑川運搬道路の整備（2020年度）

NIPPON LIGHT METAL COMPANY,LTD.

雨畑川運搬道路計画

・堆積土砂を安定的に搬出するための道路

・地域住民の要望に応える道路（緊急用の道路）

4

雨畑地区の堆砂対策の内容
短期計画（ステップ１）■雨畑川運搬道路の整備（2020年度）

NIPPON LIGHT METAL COMPANY,LTD.

5

雨畑地区の堆砂対策の内容
短期計画（ステップ１）■早川運搬道路の整備（2020年度～2021年度）

NIPPON LIGHT METAL COMPANY,LTD.

早川運搬道路計画

・沿道住民の生活及び一般通行車両への負担を低減するための道路

- 住民への通行に支障のないように必要に応じて退避場設置や誘導員配置等の安全対策について検討する
- 周辺環境への影響を低減するため、道路の清掃、散水等を徹底する。

6

今後の予定

NIPPON LIGHT METAL COMPANY,LTD.

第4回検討会（3月25日）
堆砂対策の実施内容の取り纏め

↓

搬出先候補の拡大及び搬出方法の課題解決に向け継続的な対策の実行

フォローアップ検討会
実施状況の確認

7